

タブレットを活用したスピーチに向けての一連の活動と評価 (SUNSHINE ENGLISH COURSE 1 Our Project)

①話・発

②個・表

③タブ

④録画

【ここがポイント！】

「タブレットの録画機能を使う」

「あなたの知らない私」というタイトルの自己紹介を行う」ことを目標にスピーチを行う。「Key Word (メモ)を見ながら話す」段階から、「原稿を見ずに話す」段階へと、活動の難易度を上げてスピーチに取り組みさせる。2度、タブレットで自分のスピーチ動画を撮影し、2つの動画を比較することで、生徒が自己の成長を実感できるよう自己評価する活動を行う。

【実践の目標】

「ミニスピーチ選手権！」

自分のことについて Key Word を見ながら伝えることができる。

【実際の場面】

1. 動画を活用し、自己紹介をする動機付け

スピーチを意欲的に行う動機付けができる動画を視聴し、英語で話す良さを感じさせた。

2. 1度目の撮影

タブレットの録画機能を使い、Key Word を見ながら1度目の撮影を行った。撮影後、自己評価を行った。



3. Round 1 (スピーチ練習)

1度目の撮影での改善点を踏まえ、さらに3度相手を変えてスピーチ練習を行った。また、毎回スピーチ後は、互いに評価とフィードバックを行い、改善しながら取り組んだ。

4. Strategy Meeting (作戦会議)

ここまでの練習成果をペアで共有するとともに、よりよいスピーチにするため、内容面に焦点を当てた指導を行った。具体的には、教師とインタラクションを行い、相手にとって分かりやすいスピーチにするためには、話す順序といった“内容のつながり”を考えることの大切さに気付かせた。その後、自分のスピーチを考え直す作業を行った。

5. Round 2 (スピーチ練習)

作戦会議を通して再考した発表内容のつながりを意識し、2度相手を変えてスピーチを行った。

6. 2度目の撮影

2度目の撮影を行い、自分自身で再度自分のスピーチの評価を行い、その後、身に付いた力と次への改善点を振り返った。

【成果と課題】

【成果】

○1時間の中で2度撮影することで、自分の「話す力」を感覚的に評価するのではなく、客観的に評価することができた。1度目の撮影で自己評価を「C」としていた生徒が2度目の撮影では「A」にするなど自分の努力に価値付けできる授業となった。

【課題】

○タブレットを使うことが目的とならないよう、どのようにしてタブレットを効果的に使うのかを考える必要がある。

